

カブドットコム証券株式会社
 (コード番号: 8703 東証1部)
 代表執行役社長 斎藤 正勝

2006年3月30日

「三菱UFJ証券リサーチレポート」をお客様向けに無料で提供
 ~ 月間200~500本程度配信。過去3ヶ月間のリサーチレポートを検索可能。 ~

カブドットコム証券株式会社は、3月30日（木）より、三菱UFJ証券株式会社が作成する「三菱UFJ証券リサーチレポート」を、当社のお客様向けに【無料】で提供いたします。

→ [三菱UFJ証券リサーチレポート](#)

■三菱UFJ証券リサーチレポート概要

内容	三菱UFJ証券のストラテジストやアナリストが作成する「株式ストラテジー」「セクターレポート」「日本株リサーチ」「J-REITリサーチ」などのリサーチレポートを、ログイン後のお客様専用サイト内でPDFファイルにてご覧いただけます。
配信レポート数	月間200~500本程度（一日およそ10~20本程度）
利用料	無料（口座開設済みのお客様はどなたでもご覧いただけます）
検索機能	過去3ヶ月間のリサーチレポートに対して、銘柄コード、企業名、キーワードなどから検索できます。3ヶ月以前のものはご覧いただけません。

「第18回人気アナリストランキング（日本経済新聞社）」の会社別順位で第3位の人気を誇る三菱UFJ証券のストラテジストやアナリストによる「リサーチレポート」の提供は、同種のサービスにおいてネット証券屈指の質と量を誇ります。

■主な内容

株式ストラテジー	世界の株式や債券、為替市場の動向、原油などの商品市場、景気の動き、そして株式需給など、投資環境の分析から日本株への投資戦略をお届けします。
セクターレポート	特定の業種・業界動向をタイムリーにレポートします。
日本株リサーチ	個別企業に関するリサーチレポートです。株価判断として、今後12カ月間の株価動向を1~5の5段階で格付けをしています。
J-REITリサーチ	上場REITに関するリサーチレポートです。

例えば、「日本株リサーチ」には三菱UFJ証券のアナリストが個別企業の株価判断として、今後12カ月間の株価動向を1~5の5段階で格付けを行い、表示しています。

今後も、三菱UFJフィナンシャル・グループのグループ力を活かしたサービス展開を進めて参ります。

【サンプル画面】

三菱UFJ証券 Mitsubishi UFJ Securities		Company Note
Japan Equity Research		
自動車・同様品		
レーティング	I-1	2006年2月期第3四半期決算：10-12月期営業利益14%増と「資本増益」。株主権利1、目標株価7,000円継続。
トヨタ自動車(7203)		2006年2月期第3四半期決算は、2005年10-12月期で販売高年次14.6%成長、営業利益14.2%成長した大成功の結果だ。2005年10-12月期でも、販売高年次11.8%と得意だった。(運送)部門が貢献(貢献率10.2%)。上位の販売部門も、同10-12月期と並んで成長した。「販売台数をもれなく新規車を含めて“大成功”」はボクタワでも、2005年3月期決算、大手の自動車会社が見えていた「販売台数大成功の説定」も実現してしまったと予測された。決算説明も営業戦略に焦点を当てるなど、順調に以降も堅調な展開字だ。
トヨタの2006年予想は、販売高は過去最高の結果を見込んでいたため、前回予想1、目標株価8,200円(今後12ヶ月)を維持。2006年、国内、海外どちらに販売高伸び率が4%未満にするが、安心して、販賣高が10%以上伸び、もしもダブルマジック万台を達成するかと想定すれば、それはうまい。だが、ダブルマジック万台を達成するどころか自己のトヨタがまだ「もう一段上の販売台数」への販売拡張小作、すなままで貢献するかと想定。実際見込むと、「実績強化」、「強化強化」の繰り返し。万万思ひがれぬアレコレが内蔵された。が、重要な点は2つである。実績強化需要が「強化リスク要因」が、強制的スタンスを継続する。		2006年2月8日

カブドットコム証券 <http://kabu.com>

わたしたちは**MUFG**です。MUFG

東証1部[8703]